

家庭教育学級新型コロナウイルス感染症防止対策

講座当日の運営にかかわって(参照:別紙②「感染症防止対策チェックリスト」)

1. 参加者間の間隔が2メートル以上になるよう、会場スペースを確保する。

- ・席の左右、前後を離し、前向きの座席配列にする。
- ・座席を指定し、間隔をあけて座れるようにする。
- ・受付時に行列が想定される場合は、床サイン等で列の間隔を示す。

2. 参加人数は役員を含め20人以下を目安とし、使用施設の定員を確認の上、定員以下とする。(参加者間の間隔を確保する。)

- ・参加者間の間隔をできれば2m以上、最低1mとれるように、参加人数を調整する。
- ・参加希望者が定員を超えそうな場合は、講座日を複数設ける、回を分ける(午前、午後)、参加者の対象を絞る(○学年の保護者対象)等で人数調整をする。複数開催する場合、講師料をご相談ください。

※参加希望者をあらかじめ学級生募集案内等で把握することも必要になってきます。

3. 参加者の健康確認をする。

- ・参加前に自宅で検温し、37.5度以上または平熱比1度超過する方は参加を控えてもらう。
- ・息苦しさ、強いだるさやその他風邪に似た症状のある方は参加を控えてもらう。
- ・受付時に、健康チェック表(参照:別紙③)を提出してもらう。
- ・途中で体調が悪くなった場合は、すぐに役員に申し出ることを周知徹底する。

4. 参加者全員がマスクを着用する。

- ・講座案内文や連絡の際に、マスク着用を伝える。(※予備マスクの準備必要)
- ・同伴のお子さんのマスク着用は、できるだけ構いません。(2歳未満のお子さんにつきましては問いません。)

5. 消毒・手洗いの徹底を図る。

- ・会場入口と受付に消毒液を設置する。(※消毒液の準備必要)
- ・会場入口と受付に役員が立ち、消毒や手洗いの声かけと見届けをする。



6. 参加者へ感染症対策の呼びかけ

- ・学級案内文や講座開催案内文に、「感染症対策へのご協力をお願いします(参加時の注意事項)」のチラシ(参照:別紙④)を配布し、参加希望者へ周知する。
 - ・講座開始時に、注意事項の説明をする。
 - ・入退場時、休憩時間や待合場所等も含め、学級生が密になって雑談をしたり、交流したりしないよう呼びかける。
- (受付後は開始まで席に座って静かに待ち、終了後はすみやかに退出することを徹底。)

7. 会場の清掃消毒と換気を徹底する。

- ・講座前後で、十分な清掃と人が触れる場所を消毒する。(テーブル、いすの背もたれ、ドアノブ、電気スイッチ、蛇口、手すり等)(※使用施設のルールに従ってください。)
- ・出入口のドアと窓を開け、講座中は30分に1回以上、数分間換気する。
- ・換気扇を常時稼働させておく。

8. ゴミは各自、ビニール袋に入れて密閉して持ち帰ってもらう。